

## 2021 年度 第 1 回診断評価等基準委員会 議事録

開催日時：令和 3 年 6 月 30 日(水) 18:00-19:00

開催場所：Web 開催

出席者(敬称略)： 筑田博隆・紺野慎一・佐藤公昭・寒竹司・加藤壯・川上守

金山雅弘・福井充・和田英路・橋爪洋・細野昇・土井田稔・関口美穂

欠席者(敬称略)： 本郷道生・竹内大作・金森昌彦

### 議題

#### 1. プロジェクト研究進行状況について

①「腰椎変性側弯症の健康関連 QOL 低下に及ぼす X 線学的（脊柱変形）パラメータを  
検討する多施設横断研究」（担当：竹内委員）

→竹内委員が欠席のため、論文が完成され当委員会の委員が査読後の進捗は、次回確認  
（継続審議）

②「腰椎変性すべり症に対する手術治療法の有用性に対する JOABPEQ を用いた多施  
設前向き研究」（担当：寒竹委員）

→追加解析を行い論文が完成した。当委員会の委員の査読が終了し投稿中。（継続審議）

③LSS 疾患特異的アウトカム評価のための症状スケールと QOL スケール検証（担当：

関口委員)

→集積状況は 163 例。40 歳代は LSS の特性上症例が少ないこと、現在 0 例であることから、50 歳以上の解析とするのが良いであろう。症例数の少ない年代を積極的に集積しても良いが、1 施設が全症例の半数以上を占めてしまうということは避けるべき。データの電子化を行うこと。症例集積状況を定期的に確認し、集積を促す。(継続審議)

#### ④ Lumbar Stiffness Disability Index (LSDI)の妥当性の検証(担当:橋爪委員)

→和歌山で日本語版を作成している。日本語版の検証研究は、当委員会をメインとする多施設共同研究で実施することが良いと思われるので、進捗を確認して検証研究の案を提案する。

#### 2. JOABPEQ、JOACMEQ 偏差得点の開発の進捗状況について(担当:福井委員)

→ 1 度解析結果を当委員会にて提示し、課題があることが指摘されたため、再解析を行う予定。

#### 3. 学会主導プロジェクト研究のデータを蓄積して二次利用する件について

→以前、日本脊椎脊髄病学会倫理委員会の理事と日本整形外科学会倫理委員会委員であった永島先生から、二次利用は難しい状況という情報があった。

→日本整形外科学会倫理委員会にて、以下のポイントで確認、または必要に応じて審議する。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、データの管理者、個人情報が含まれているのか、研究期間終了からのデータ保管期間など様々な要因を加味

して倫理指針を基準として、過去に集積したデータを二次利用できるか否か、今後二次利用できる集積の仕方があるのかについて整理する。

#### 4. その他

次回の開催は、3ヶ月後ぐらいを目安に調整する。